

新堀小学校の沿革概要

年月日	概 要
明治 8年 6月	新堀学校創立 本校 長善寺／分校 島森慎吾氏宅 この年までは、次の寺子屋があった。 ・金剛寺（大寛泰林氏）・観音寺（大富了寛氏）・長善寺（大石甚然氏） 謝礼は扶持米と季節米。進級制度を8～1級とし、半年ごとに進級し、明治22年までこの制度で行われた。 学区の戸数：303戸 人口：1756人
明治14年	戸塚学校創立 戸塚学校を羽場に設置する。生徒数50名余。 戸塚学校が蒼前に移る。 19年までに、晴山万次郎氏、菊池佐次郎氏、菊池武エ門氏、畠山弥次郎氏宅を転々と移転する。
明治17年	教科に英語の初歩が加えられた。 教科は、読書、習字、算術、地理、日本歴史、特に修身を重視。
明治18年	小学校令公布、尋常科4ケ年が義務教育となる。
明治19年	戸塚小学校が廃止され新堀地区の学校に編入となる。
明治21年	新堀小学校が長善寺より、藤根隆造氏方（長谷場）に移る。
明治22年	新堀小学校が千刈田尋常小学校（伊東房吉氏方）と種森尋常小学校（佐々木勘次郎氏方）に分離。学業評価を、善・能・可・未の4段階とした。
明治24年 1月	初代校長 内堀卯八郎氏着任 （参考：石鳥谷郵便局開設 明治24年、同駅開設 明治26年）
明治33年 1月	千刈田、種森の両学校を合併し、新堀尋常小学校となる。
明治34年 4月	現在地に新校舎落成。校地1反2セ、2階30坪、階下32坪、3学級、生徒数159名。
明治35年 4月	高等科を設置し、新堀尋常高等小学校と改称する。 （高等科男子43名、女子14名、計57名）
明治39年 7月	校舎90坪増築落成する。
明治40年	尋常科6年制となる。
明治43年 4月	校舎再増築し、校庭拡張工事を行う。戸塚森に学校林を設ける。
明治45年	甲・乙・丙・丁の4段階評価法を採用する。
大正 3年12月	校舎1部を改築、校庭を拡張する。
大正 7年	教科書が改訂され、国語（ハナ、ハト、マメ、マス読本）、修身、算術、地理、国史となる。
大正 9年	創立20周年祝賀会を行う。

大正15年	3月	農業補習学校を併設する。新堀少年赤十字を結成する。
昭和3年		青年訓練所を併設する。
		新堀農業補習学校実習田3セ10歩を設置する。 (教科書にメートル法採用。新堀地区に電話入)
昭和7年		実習田を5セ20歩とし、肥料試験地5セを設置する。 (4月9日 石鳥谷小学校火災にあう)
昭和8年		教科書改訂(サクラ読本、最初の色刷教科書) (7月24日 大瀬川小学校火災にあう)
昭和10年	7月	青年訓練所を青年学校と改称する。 (小学校高等科卒業後満20才までの青年男女)
昭和13年		似内徳弥氏の土地を買い受けて校庭を拡張する。 鈴木金吾氏の寄贈により実習田を拡張する。 評価法が教科は10点法、操行は優良可となる。 (山屋小学校火災にあう)
昭和14年	11月	古校舎を廃し、講堂を改築する(8間×18間)。 水飲み場、小使室、宿直室も改築する。 5・6年と高等科に武道科を置く。
昭和16年	4月	新堀国民学校と改称する。 教科を国民科、理科、体錬科、芸能科とする。
昭和19年		優良可の評価法、学徒動員令、学童疎開促進要綱が出される。
昭和20年		敗戦により、教科書等から戦争教材を削除する。
昭和22年	4月	新堀小学校と改称する。(新堀中学校を併設する) 6・3・3制実施(ローマ字、社会科導入)
昭和23年		5段階評価法を導入する。新堀小学校PTAが9月に発足する。 (6月 新堀農業協同組合設立)
昭和26年	8月	西側校舎を増築する。(中学校校舎落成)
昭和29年	4月	校庭を拡張する。(新堀公民館落成)
昭和30年	4月	町村合併により石鳥谷町立新堀小学校と改称する。 戸塚森スキー場が開設される。(八日市小修学旅行バス事故)
昭和31年		学校植林指定となる。(新堀保育園開設)
昭和34年	1月	校舎新築落成する。(木造モルタル仕上げ)
昭和35年		校歌が制定される。(作詞:井田誠一氏 作曲:平岡照章氏)
	4月	創立60周年記念祝賀式典を行う。 記念事業 1. 水道施設の整備 2. 放送施設整備 3. 校歌の制定 4. 学校林の植樹 他
昭和38年	10月	学校給食室が落成する

昭和42年	8月	学校プールが落成する。
昭和43年	6月	特殊学級を設置する。
昭和45年	2月	学校給食施設が町学校給食センターに移る。
昭和46年	6月	正門に校名板を取り付ける。
昭和47年	7月	校旗備付（P T A寄贈）・校歌碑が完成する。
昭和48年	2月	自家水道を廃し、町営水道からの給水となる。
昭和49年	11月	創立100周年記念事業を行う。 校庭北側にミニエベレストを造成する。（48年9月3日） 校舎南に観察園、観察池、北面に花壇2基を造成す。 正門わきに創立百周年記念碑を建立。
昭和50年	9月	本校P T Aが東北P T A連合会賞を受賞する。
昭和51年	3月	岩手県学校環境緑化コンクールに入選受賞する。
昭和52年	9月	校庭東側に花壇2基を造成する。
昭和54年	4月	県、町の指定により、勤労体験学習推進事業の指定校となる。
	5月	自転車置場を設置する。
昭和58年	5月	県社会福祉協議会より社会福祉協力校の指定(指定期間5ケ年)を受ける。
	10月	石鳥谷町教育委員会より理科の研究指定を受け、学校公開研究会を開催。
昭和59年	2月	安全教育及び安全管理優良校として県教育委員会・健康会より表彰。
	5月	県教育委員会の推薦により、特色のある学校（理科教育）の全国版紹介。
昭和60年		神楽クラブを設立する。（藤根晋氏指導開始）
昭和61年	5月	プールの塗装工事をする。
昭和62年	4月	町教育委員会より理科教育研究指定を受ける。
昭和63年	1月	県社会福祉協議会より社会福祉協力校として感謝状を受ける。
昭和63年	6月	旧校舎とのお別れ会を行う。
	7月	新校舎が完成する。記念事業が並行して推進される。樹木移転。他多数。
	8月	学校備品移転作業を全児童が行う（1日）。 P T A会員による奉仕作業を行う（7日）。 新校舎を第2学期始業式の日より使用する。
	10月	町交通安全対策協議会より、交通安全模範校として表彰を受ける。
	11月	町教育委員会指定による理科教育研究会として、公開研究会を行う。
平成 元年	2月	屋内運動場（体育館）が新築落成する。 校舎竣工式並びに校舎落成記念の会が盛大に挙行される。
平成 2年	6月	社団法人文教施設協会より、新堀小学校の校舎が「多様な学習空間部門」で優秀であるということで協会賞を受賞する。
平成 3年	1月	学校環境衛生優良校として岩手県薬剤師会より表彰される。
	11月	生活科推進協力校の指定を受け「授業実践発表会」を行う。

平成 4年 6月	ことばの教室の開級式を行う。
平成 4年～5年	町教育委員会より理科教育研究指定校を受ける。
平成 5年10月	町教育委員会指定理科・生活科教育研究校として公開研究会を行う。
平成 6年 4月	岩手県立総合教育センターより研究協力校の委嘱を受ける。 (理科・生活科・ことばの教室)
7月	ことばの教室親の会を結成する。
8月	神楽の袴づくり(6着)を行う。講師 佐々木ノリ子
9月	新堀体操が作成される。
10月	校庭の樹木を移転する。 夜間照明が設置・完成され、記念式典及び新堀地区東西対抗ソフトボール大会が行われる(5・6年児童全員参加)。
11月	校舎等の航空写真撮影をする。
平成 7年 1月	神楽の袴づくり(119着)を行う。講師 佐々木ノリ子
4月	岩手県歯科医師会より、よい歯の優良校表彰を受ける。
7月	新堀小学校環境整備委員会の任務が終了したため解消する。 築山に土盛り工事を施す。
8月	神楽の上衣づくり(119着)を行う。講師 佐々木ノリ子
9月	パソコンを6台導入する。
11月	花巻地区PTA連絡協議会より本校PTAが団体表彰を受ける。 6学年親子で桜の記念植樹を行う。
12月	第5回石鳥谷町学校保健安全大会の会場校となる。
平成 8年 3月	日本PTA全国協議会から国際レインボー便参加により表彰される。
7月	社団法人日本善行会から神楽クラブが表彰を受ける。
8月	岩手県PTA連合会から「広報こぼと」が表彰(優良賞)を受ける。
10月	社団法人食品容器環境美化協会から環境美化教育の優良実践団体として表彰を受ける。
平成 8年～9年	PTAのリサイクル運動が「資源とエネルギーを大切に作る運動」の優良実践団体として「愛ランドいわて」県民運動協議会から表彰を受ける。 町教育委員会より理科・生活科教育研究指定校を受ける。
平成 9年10月	町教育委員会指定理科・生活科教育研究校として公開研究会を行う。
平成10年 5月	第2ことばの教室が開級される。(町財政により)
12月	第8回石鳥谷町学校保健安全大会の会場校となる。
平成11年 4月	校庭暗渠工事が完成する。 岩手県立総合教育センターより平成11・12年度研究協力校の委嘱を受ける。(生徒指導)
平成11年 8月	岩手県PTA連合会より年次表彰を受ける。

平成12年	1月	岩手県学校歯科保健優良校の表彰を受ける。
	6月	学校プールの水槽ゴム張り替えを行う。 校庭整地（岩手瀝青）
	9月	児童用パソコン33台・教師用パソコン1台・教師用ノートパソコン1台等が整備される。
	10月	地域社会福祉協力校として第53回岩手県社会福祉大会において表彰を受ける。
平成12年	12月	花巻地区PTA連絡協議会より年次表彰を受ける。
平成13年	1月	岩手県学校歯科保健優良校の表彰を平成12年度に引き続き受ける。
	2月	プール更衣室を改築する。校庭ポプラ（1本）を伐採する。
	4月	岩手県立総合教育センターより平成13・14年度研究協力校の委嘱を受ける。（理科におけるコンピュータを活用した教材の開発に関する研究）
		第43回創意工夫育成功労学校表彰において文部科学大臣賞を受賞する。
	10月	全国共済農業協同組合連合会岩手県本部主催第45回JA共済児童・生徒作品コンクール優秀学校賞の部で岩手めんこいテレビ賞を受賞する。
	11月	児童の創意工夫を生かした特色ある理科教育の成果により岩手県教育長賞を受賞する。 第43回創意工夫育成功労学校表彰において文部科学大臣賞を受賞したことにより町功労賞を受賞する。 岩手県青少年民俗芸能フェスティバルに神楽クラブ出演し「膳舞」を披露。
平成14年	3月	ことばの教室を閉級する。（石鳥谷小学校へ移設のため）
	10月	全国共済農業協同組合連合会岩手県本部主催第46回JA共済児童・生徒作品コンクール優秀学校賞の部において岩手めんこいテレビ社長賞受賞。
平成15年	1月	岩手県学校歯科保健優良校として表彰を受ける。
	2月	日本水環境学会東北支部主催平成14年度「東北・水すまし賞」受賞。
	3月	「こぼと」学級を廃止する。
	6月	環境省環境管理局水環境部長表彰を受賞する。
	10月	世界宇宙飛行士会議 in 花巻出前授業会場校となり、ロシア人宇宙飛行士ミハイル・チューリンさんの授業を5・6年児童が受ける。 理科・生活科の学校公開研究会を開催する。
	12月	旧ことばの教室・旧「こぼと」学級が学童クラブとなり、開所する。
平成16年	1月	岩手県学校歯科保健優良校として表彰を受ける。
	10月	創立130周年記念事業を行う。（新堀公民館50周年・新堀体育協会50周年記念事業と合同の「三者合同記念事業」として行う。）
平成17年	1月	岩手県学校歯科保健優良校として表彰を受ける。
平成18年	1月	石鳥谷町・大迫町・東和町・花巻市の1市3町合併により新「花巻市」となり、花巻市立新堀小学校と改称する。

		岩手県学校歯科保健優良校として表彰を受ける。
	4月	新花巻市誕生記念式典において本校特設神楽クラブが膳舞を披露する。 「こぼと」学級を開設する。
	11月	永年の青少年健全育成の取り組みに対して、本校特設神楽クラブが岩手県青少年育成会議より表彰を受ける。
平成19年	1月	岩手県学校歯科保健優良校として表彰を受ける。
	2月	永年のリサイクル活動が認められ、花巻市環境表彰を受ける。
	11月	学童クラブ入り口北側に風よけができる。 交通事故防止のため、学童クラブ前から校舎北側に抜ける通路完成。
平成21年	1月	岩手県学校歯科保健優良校として表彰を受ける。
	10月	J A 共済児童生徒作品コンクール絵画の部学校賞を受賞する。
平成22年	1月	岩手県学校歯科保健優良校として表彰を受ける。
平成23年	1月	岩手県学校歯科保健優良校として表彰を受ける。
	4月	情緒・自閉症学級を開設する。
平成24年	1月	岩手県学校歯科保健優良校として表彰を受ける。
	2月	図書室・視聴覚室にエアコンを設置する。
	10月	花巻市教育委員会指定 算数科の授業実践公開研究会を行う。
平成25年	1月	岩手県学校歯科保健優良校として表彰を受ける。
	8月	トイレ洋式化工事を完了する。
	11月	岩手県学校歯科保健優良校として表彰を受ける。
平成26年	10月	プールサイド・フェンス改修工事完了する。
平成27年	1月	岩手県学校歯科保健優良校として表彰を受ける。
平成28年	1月	岩手県学校歯科保健優良校として表彰を受ける。
平成29年	11月	花巻市教育委員会の指定 国語科の授業実践公開研究会を行う。
平成30年	7月	職員室・保健室エアコン設置を完了する。 岩手県学校歯科保健優良校として表彰を受ける。
令和 元年	7月	普通教室にエアコンの設置を完了する。
令和 2年	3月	新型コロナウイルスの蔓延防止のため臨時休校する。
	7月	コロナ禍により夏休み中のプール開放を中止する。
	10月	コロナ禍により学習発表会を中止する。
令和 3年		G I G A スクール構想により1人1台タブレットPCが導入される。
	7月	校長室にエアコンを設置する。
令和 4年	10月	学校運営協議会設置準備委員会を設立する。
令和 4年	10月	児童数減少に伴いファンファーレバンドの活動を次年度から休止とする。
令和 5年	6月	学校運営協議会を設置し、コミュニティスクールへ移行する。